

# ひたち野



## 茨城空港が開港して

茨城空港利用促進等協議会

会長 橋本 昌

本県が進めてきた「陸・海・空の広域交通ネットワーク」の大きな柱の一つ、茨城空港が3月11日に開港しました。茨城空港は、羽田空港・成田空港に次ぐ首都圏3番目の空港として、北関東地域のみならず、増大する首都圏の航空需要の一翼を担う役割を果たすことが期待されています。

開港当初から韓国・ソウル（仁川空港）へアジアナ航空による定期便が毎日1往復運航されますとともに、4月16日からは神戸へスカイマークによる定期便が、毎日1往復運航されます。アジアナ航空が就航する仁川空港からは、北米やアジアをはじめ世界各地への乗り継ぎが可能であり、韓国のみならず、世界各国がより身近になってまいります。

他にも、開港を記念し、各旅行会社によるハワイや台湾へのチャーター便が運航され、また、ゴールデンウィークには、セブ島、ハイナン島、グアムなど人気の観光地へのチャーター便の運航が決定しています。

茨城空港は、これまでの地方空港とは設計思想が異なり、近年世界的に急成長しているローコストキャリアの受け皿となる我が国初のバジェット空港（低価格指向の空港）を目指しております。

ターミナルビルの目の前には、1,300台の無料駐車場を完備するとともに、ビルも出発ロビー・到着ロビーを1階に集約するなどにより、搭乗までの時間を短縮し、上下の移動がなくシンプルでわかりやすく、ご高齢の方やお子様連れの方も快適に安心して利用することができます。

茨城空港までは、最寄りのICとして東関東自動車道水戸線・茨城空港北IC（空港まで9km、13分）を利用すれば、北関東自動車道や常磐道からもスムーズなアクセスが可能です。また、JR常磐線石岡駅・水戸駅からは空港まで路線バスを運行しています。

茨城空港は、飛行機を見学したり、食事をしたり、お友達との待ち合わせ場所として、ご利用いただくことも可能です。この他、ターミナルビル内ではさまざまなイベントも開催されます。茨城空港発の空の旅、大いに楽しんで下さい。